

平成25年行政事業レビューシート

(内閣官房)

事業名	国家戦略室経費		担当部局	内閣総務官室		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室			内閣参事官 箕浦 龍一		
会計区分	一般会計		政策・施策名					
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「革新的エネルギー・環境戦略」の策定等、総理の指示に基づき国家戦略室にて企画・立案・調整を担当している重要政策について、国家戦略に関する総合的な見地からの基礎調査を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「革新的エネルギー・環境戦略」においては、「2030年代原発稼働ゼロを可能とするようあらゆる政策資源を投入する」とされており、その第一歩として、期限を区切った節電・省エネルギーの目標、再生可能エネルギーの導入量、技術開発・普及などの目標とそれを実現するための予算、規制改革などの具体的な手段を盛り込んだ「グリーン政策大綱」を2012年末までにまとめることされている。 その一環として、本件調査は、グリーン先の先導的分野に関する各種基礎データの収集や整理を行い、「グリーン政策大綱」を理論的に補強するとともに、こうしたデータをタイムリーに国民に提供することにより、一般国民に理解しやすい「グリーン政策大綱」の作成につなげていくものである。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	8	-	-	
		繰越し等	-	-	0	-	-	
		計	-	-	8	-	-	
	執行額	-	-	4	-	-		
	執行率(%)	-	-	50%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	2030年を見通した省エネルギーや再生可能エネルギーの普及拡大を図る政策の検討に資するため、政策投入を重点化する分野について、各種基礎データの収集や整理を行うとともに、これらの情報を活用して一般にも理解しやすいデータ集の作成を行う。		成果実績	件	-	-	1	-
			達成度	%	-	-	100%	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	グリーン先の先導的分野等に関する調査		活動実績 (当初見込み)	回数	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)
単位当たりコスト	グリーン先の先導的分野等に関する調査 (3.9百万円/1回)		算出根拠	X=3.9百万円(平成23年度決算額) Y=1回(調査回数)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検

項目		評価	評価に関する説明							
国 必 要 投 入 の 効 率 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		平成24年9月19日の閣議において、今後のエネルギー・環境政策については、「革新的エネルギー・環境戦略」を踏まえて、遂行することと決定された。「革新的エネルギー・環境戦略」においては、「グリーン政策大綱」を平成24年末までにとりまとめるとされた。本調査はそうした種々の決定に基づき、今後のエネルギー・環境政策の立案のための基礎データを収集するために、必要不可欠のものであった。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。									
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。									
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		競争入札等を適正に実施するなど、資金の流れ、用途等の適正さの確保に努めた。							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-								
	単位当たりコストの水準は妥当か。									
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-								
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。									
事 業 の 有 効 性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	調査結果は、今後のエネルギー政策の基礎資料として利活用している。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。									
重 複 排 除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。									
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	事業番号		類似事業名	所管府省・部局名					
事業番号	類似事業名	所管府省・部局名								
点 検 結 果	<p>平成24年度予算の内閣の重要政策に関する基礎調査(環境・エネルギーに関する基礎調査)費(新規)は契約に当たって原則として、一般競争入札により調達しており、支出削減に努めている。</p> <p>本調査は、2012年末までに策定することとしていた「グリーン政策大綱」の資料として、各種基礎データの収集や整理を行い、「グリーン政策大綱」を理論的に補強するとともに、こうしたデータをタイムリーに国民に提供することを目的に行ったもの。</p> <p>調査結果の利活用については、今後のエネルギー政策の基礎資料として利活用している。(平成24年度限り予算)</p>									

外部有識者の所見

本事業は、「革新的エネルギー・環境戦略」の策定等の重要政策について、総合的な観点からの基礎調査を行うことを目的とするもので、24年度はグリーンの先導的分野等に関する調査を1件実施している。この1件の調査の位置づけが、「グリーン政策大綱」の資料として、各種基礎データの収集・整理、同政策大綱の理論的補強と国民に対するタイムリーなデータ提供を目的とするものであるならば、活動指標及び活動実績、成果目標はより具体的にそれに沿ったものとして、効率性、有効性を評価する必要がある。

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

事業効果の検証を着実に行うべき。
(24年度限りの経費)

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

24年度限りの経費

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年		平成23年		平成24年	新24-0002
-------	--	-------	--	-------	----------

平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【一般競争入札】

内閣官房国家戦略室
3.9百万円

A. デロイトトーマツコンサルティング(株)
3.9百万円

内閣の重要政策に関する国内外の調査

グリーンの先導的分野等に関する調査

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.デロイトトーマツコンサルティング(株)			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
諸謝金	グリーンの先導的分野等に関する調査	3.9			
計		3.9	計		0
B.			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	デロイト・トーマツコンサルティング(株)	グリーンの先導的分野等に関する調査	4	3	97.50%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					